実施要領　様式８（第12条関係）

事業所名 グループホームりんごの家

作成日：　平成　31年3月　11日

２　目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	入居者への声がけや一人ひとりの人格を尊重したケアについて、理解できるようにホーム内の学習会でテーマにして取り組んでいるが、新人スタッフに定着できていない場面があると感じている。また、具体的に取り組みができていない。	入居者のペースに合わせた声がけの方法について、具体的な取り組みを行うことで、入居者と御家族が安心して過ごせるサービスを提供する。 年２回実施している、満足度調査のアンケート項目「職員の態度、言葉遣いはどうですか」の設問に、現在の８割から、９割以上満足していると回答してもらえるようにしたい。	実践リーダー研修の修了者（管理者）を中心に、現在のスタッフの声がけや態度について自己を振り返り、カンファレンスや学習会を利用し、グループワークにてスタッフ一人ひとりがケアについて気付けるようにアドバイスをしていく。	１２か月
2	44	高齢になると腸内の活動も低下し、便秘傾向の入居者が多く、食事で改善できない時には、すぐに下剤に頼ってしまう現状がある。	基本的な便秘の定義や排便パターンについて、学習会で知識を深め、個別に下剤に頼らないケアができるようにカンファレンスで検討する。 御家族にも差し入れ等の協力をしていただきながら、自然排便を促し、快便を目指す。	排便についての知識を深めると共に、下剤の種類や副作用について学ぶ。また、排便がスムーズになるような食材の活用や個別の排便パターンを知ることで、下剤に頼らず、入居者に合わせた便秘対策をしていく。	１２か月
3					か月
4					か月
5					か月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。